



地震に強いぞ『チャコの家』

東日本大震災から、わずか5年で今度は熊本地震が起きてしまいました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

地震大国の日本では、こういった大地震がいつどこで起きても不思議ではありません。私達ができる事は、その時にかに自分を守るかという事です。建物が倒壊しなければ命を守る可能性が高くなります。耐震基準は、大正関東大地震以降、大地震が起こるたびに改正されてきているので、きちんと建てられていれば古い建物よりは新しい建物の方が、被害は少ないのではないかと思います。そこで今回『チャコの家』ならどうなのかという事を説明いたします。



『チャコの家』の建前の様子(1階部分はパネルが、はめ込まれた状態です)



筋交い入りのパネルと柱をプレートで固定しています

今までの大地震で周辺の家が崩れたり傾いたりしたなか『チャコの家』は、目立った被害はなかったという報告があります。それは何故かという『チャコの家』の工法にあります。

在来軸組工法の柱や土台、梁の間には筋交い入りチャコパネルをバランスよくぴったり配置しています。そのパネルの中には硬質ウレタンが隅々まで充填されているのでパネルの強度もとても高く歪みや水平力に対して強いのです。それは地震や台風、豪雪などですでに実証済みで一般の建物の2.6倍の強さがあります。又、オール電化なので火災の心配はないのですが万一、火が出たとしても不燃性のパネルなので燃え広がる事はありません。また現在「ジョイ・コス」(チャコパネル供給会社)は、このパネルを耐力壁として大臣認定取得に向かっているとの事です。これから家を建てられる方、安心できる家を建てませんか？

職場体験レポート

N君

M君



丸岡南中学校
2年生



6月1日から3日間、丸岡南中学校から2名の男の子が職場体験に来ました。今年の2月に弊社社長が「職業講座」という授業で、建築の仕事の内容を紹介したところ興味を持って来てくれたそうです。体験終了後には「楽しくて勉強になりました」というお礼の手紙を頂きました。今回の体験が今後の進路や職業を選ぶ上で役に立つといいなあと思っています。



修繕工事の現場で材料や廃材運び



パナソニックのショールームにて最新の商品等を見学



屋根修繕工事の現場で足場組の手伝い



「住みたい家」をフリーハンドとパソコン(CAD)で設計

